

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
【**単独**・連携事業】

市町名	鹿沼市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	南押原地区アイデア 会議	総事業費	844,719					844,719
		うち市町支出額	348,000					348,000
		うち県交付金	174,000					174,000
2	東大芦地区アイデア 会議	総事業費	1,688,250					1,688,250
		うち市町支出額	600,000					600,000
		うち県交付金	300,000					300,000
3	かぬまくらしのガイド多 言語動画作成事業	総事業費	296,000					296,000
		うち市町支出額	250,000					250,000
		うち県交付金	125,000					125,000
4	誰もが生きいき！支え あい推進事業	総事業費	583,586					583,586
		うち市町支出額	250,000					250,000
		うち県交付金	125,000					125,000
5	ZOMarket開催事業	総事業費	250,018					250,018
		うち市町支出額	150,000					150,000
		うち県交付金	75,000					75,000
6	地域デビューのための ママ講座	総事業費	171,000					171,000
		うち市町支出額	150,000					150,000
		うち県交付金	75,000					75,000
7	鹿沼秋まつり事業	総事業費	18,297,025					18,297,025
		うち市町支出額	6,570,000					6,570,000
		うち県交付金	3,000,000					3,000,000
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	22,130,598	0	0	0	0	22,130,598
		うち市町支出額	8,318,000	0	0	0	0	8,318,000
		うち県交付金	3,874,000	0	0	0	0	3,874,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	南押原地区アイデア会議事業
事業主体の名称	南押原地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	鈴木 節也
事業主体の所在	鹿沼市榎木町1079-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的:当協議会は南押原地区の住民が自主的に、互いに助け合い、協力し合って、心豊かな生活を過ごすことができるコミュニティの形成に努め、併せて地域の活性化を図ることを目的とする。(規約より)</p> <p>・設立年月日:平成15年6月1日(南押原地区アイデア会議は平成25年8月5日発足)</p> <p>・構成員等:南押原地区住民4,138人(5月1日現在)(役員:会長1名、副会長3名、会計1名、監事2名、理事若干名)</p> <p>・主な活動:①敬老部会活動(敬老会と青空市の企画実施)②文化部会(文化祭の企画実施)③人材発掘部会(地域の人材登録・活用=各種講座の企画実施)④コミュニティフィールドの管理⑤児童生徒安全対策会議・防火防犯診断⑥千葉県三を知る教室の企画開催⑦アイデア会議=地区モデル事業の取り組み</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本地区は、栃木市や壬生町と境を接する鹿沼市の南玄関口にあたり、東武線が走るほか、国道が南北に走り、東北自動車道への連絡も容易なため、交通の要衝となっている。</p> <p>昨年度、榎木駅前に駐輪場が整備されたが、観光客の回遊ルートがない。また、少子高齢化が進行しているが、高齢者の独り暮らし世帯への支援体制が整っていない。加えて地域のコミュニティのつながりが希薄になるとともに、地域の魅力に気づかない住民も増加してきている。</p> <p>地区内の活性化を図るためにも、地区内外への地域の魅力をアピールする必要がある。</p>
事業目的	<p>・駐輪場を活用し、地区内を周遊できる体制を整えることにより、地区内における交流人口を拡大する。</p> <p>・地域全体で高齢者を支える意識を高める。</p> <p>・子どもたちに伝統文化を継承し、世代間交流や、郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>榎木駅の周辺を整備することにより地域の魅力を向上させるとともに、高齢者に向けた支援のための取組を行う。</p> <p>①地区の中心地である榎木駅からコミュニティセンター周辺や小敷川の景観を整備し(小敷川沿いへの史跡看板設置、スイセンと彼岸花の球根植え付け、ウォーキングコース整備等)、誰もが気軽に楽しめる散策コースを紹介するマップを5,000部作成した。成果物は東武日光線各駅や県内公共施設、観光協会に置くことで広く周知する。特に交流都市(足立区、墨田区、台東区、春日部市)等へのPRを行うことで、地区内への交流人口を拡大した。</p> <p>②社会福祉協議会のバスを利用し、「おかいものツアー」として、高齢者等買い物困難者や引きこもりがちな高齢者を支援した。運営は地区住民が中心となったコミュニティ推進協議会(会員4,138人)が中心となることで、高齢者一人一人に丁寧な働きかけが可能となり、地域で高齢者を支える意識の醸成を行う。計10回開催。参加者80名</p> <p>③子供たちが地元の伝統文化を体験し、世代間・地域間交流を促進するため、地区ふるさと祭り(盆踊り)を開催した。H28.8.6南押原ふるさと祭り開催 来場者数:1,000名</p> <p>H29、H30</p> <p>①マップを活用しPRをするとともに、遊歩道の草刈り等整備を実施する。</p> <p>②社会福祉協議会のバスを利用し、「おかいものツアー」として、高齢者等買い物困難者や引きこもりがちな高齢者を支援する。運営は地区住民が中心となったコミュニティ推進協議会(会員4,138人)が中心となることで、地域で高齢者を支える意識の醸成を行う。特に自治会単位単位で定期的な実施を計画する。</p> <p>③子供たちが地元の伝統文化を体験し、世代間・地域間交流を促進するため、地区ふるさと祭り(盆踊り)を開催する。コミュニティ推進協議会と自治会が連携して事業を実施することで、自治会活動への理解が深まり自治会加入率の向上につなげる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かなこころを育て、生涯安心してらせるまち</p> <p>【KPI】地域力支援事業:6件、 高齢者の生活支援(買物支援・移送サービス)件数: 0件(H27年) → 1,800件(H31年までの累計・年間延べ360人×5年) 自治会加入率:79.2%(H26年) → 80%(H31年) 交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

事業内容	28年度			支援期間の事業費計	
	事業費				
事業内容					
遊歩道マップの作成					
お買い物ツアーの開催					
ふるさと祭りの開催					
事業費	844,719			844,719	
市町支出金(ソフト事業分)	348,000			348,000	
うち県交付金	174,000			174,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	496,719	300,000	300,000	496,719	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
連絡先 FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	東大芦地区アイデア会議事業
事業主体の名称	東大芦地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	会長 寄川良一
事業主体の所在	鹿沼市上日向375番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:コミュニティの在り方についての調査研究とコミュニティづくりに対する整備計画、施設の運営について地域住民の意思を反映し、住民の自主的参加を促進するとともに、コミュニティ組織活動の連絡連携を促進することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和52年3月30日</p> <p>・構成員等:東大芦地区住民 3,100名(H28. 4. 1現在) 役員(会長1名、副会長3名、会計1名、理事若干名、監事2名)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>東大芦地区は、鹿沼市の中央に位置し、大芦川が地域を潤し、県道鹿沼・日光線や県道石裂・上日向線が交通の根幹をなしている。環境特性は、里地自然環境に属し、人口改変度は比較的少ない自然に恵まれた地域である。お囃子の伝統芸能が各地域で継承されている。</p> <p>しかし、少子高齢化、核家族化が進行し、地域のコミュニティのつながりが希薄になるとともに、地域の魅力に気づかない住民も増加してきている。地区内の活性化を図るためにも、地区内外への地域の魅力をアピールする必要がある。</p>
事業目的	<p>・地区住民が一体となってイベントを開催することにより、地区住民の融和及びコミュニティ意識の高揚を図る。</p> <p>・地元住民による東大芦地区のすばらしさの再認識</p> <p>・地元食材を使用したグルメコンテストや地区内ウォーキングを行う事により、地区外にも東大芦地区をPRし、将来的に誘客増を見込む。</p>
事業概要	<p>H28 ふれあいフェスタin出会の森 イベント開催 来場者数:約2,000人 開催日:平成28年10月23日(日) 会場:出会の森総合公園 (内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ステージイベントを実施(さつきドリーマーズ、プレクシー等による演出、地域伝統文化(お囃子)の競演、消防団パフォーマンス等) ○模擬店(焼きそば等の一般的なもののほか、地域の特色を生かしたもの(深岩石で焼いたピザ等)) ○グルメコンテスト(3部門 わが家の自慢料理①主食 ②副食 ③スイーツ) ○地区内ウォーキング(3コース) ○パネル展示等、自治会活動の周知による自治会加入の促進を実施した。 ○イベント全体に地域特有の産物・風習等を取り入れ、特徴を出すことで、来場者に地域の魅力をアピールした。 ○来年度以降も継続的に実施することで、コミュニティ間の交流を促進するとともに、コミュニティのつながりを強化する。 ○広報かめま、週刊鹿沼、月刊鹿沼、その他ラジオ等メディア利用等でPRを図った。 <p>広報かめま、月刊、週刊鹿沼は市内の他、交流都市(足立区、墨田区、台東区、春日部市)等に送付した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域の力支援事業:6件 自治会加入率:79.2%(H26年) → 80%(H31年) 交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	「東大芦ふれあいフェスタin出会の森」の開催				
事業費	1,688,250			1,688,250	
市町支出金 (ソフト事業分)	600,000			600,000	
うち県交付金	300,000			300,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	1,088,250	0	0	1,088,250	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	かめまぐらしのガイド多言語動画作成事業
事業主体の名称	まるごと日本語教室
代表者の名称	谷澤 享司
事業主体の所在	鹿沼市下横町1302番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:鹿沼市国際交流協会と連携し、外国籍市民に対して生活していく上で必要な日本語を教える。 ・設立年月日:平成28年4月1日団体発足(従前は市国際交流協会の日本語教室として週1回開催) ・構成員等:運営ボランティア15人 ・主な活動:毎週木曜日の夜に、鹿沼市在住の外国籍市民(主にベトナム、中国、ポリビア、アメリカ人など)に対し、鹿沼市で生活していく上で必要な日本語の教室を開催。教室において外国籍市民からの日常の相談なども受けている。
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本市在住の外国籍市民は約1,000人と、人口の約0.1%を占めている。帰化市民を合わせると相当数の市民が外国出身者となり、地区によっては、その割合はさらに高いものとなっている。 ・外国籍市民や帰化市民等と地域住民の間で生活習慣や言語、制度の違いがみられ、地域コミュニティに溶け込みづらく、コミュニティ参加への障害となっている。 ・「くらしのガイド」等、生活に関する冊子で多言語となっているものはあるが、情報が限定的で、文字情報だけでは内容を具体的に想像できない場合がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿沼市で生活していく上で必要な情報を外国籍市民にもわかりやすい動画で紹介することで、鹿沼市での生活に早くなじみ、自治会等の地域コミュニティに溶け込むようになること。 ・また事業のなかで、外国籍市民に自治会参加を働きかけることで、自治会加入率を改善する。 ・さまざまな人が住みやすいまちづくりによる流入人口増加を狙う。 ・動画作成を通して外国籍市民にも活躍の場を提供し、地域の新たなリーダーを育成する。
事業概要	<p>H28</p> <p>①動画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍市民や帰化市民等が生活していく上で必要な情報(日常生活、防災、保険、税金、病院のかかり方など)を紹介する多言語による動画を製作した。また、お互いが理解しあい、安心して暮らせるよう、お互いの顔が見える関係になるような趣旨を盛り込んだ。 ・動画は鹿沼ケーブルテレビと協力し撮影・編集する。内容やキャストについて市や国際交流協会と協力しながら事業を行った。 ・市内の生活様式、方法、コミュニティの形成等を学ぶことで、コミュニティへの参加を促し、積極的にかかわることで、その中からリーダーとなりえる人材の育成につなげた。 <p>②ホームページ上での公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画は市や国際・交流協会のHPで公開した。バーコードリーダーで読み取り、スマートフォン・タブレット等各種情報端末からでも見られるようにした。 ③地域コミュニティへの参画・活躍の場を確保するため、日本語教室への参加を促進した。 <p>H29</p> <p>①動画作成</p> <p>②ホームページ上で公開</p> <p>H30</p> <p>①ホームページ上で公開</p> <p>(動画は必要に応じてリニューアル、情報を有効活用することで、外国籍市民がコミュニティに参画しやすくなることに重点を置く。)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域の力支援事業:6件、 自治会加入率:79.2%(H26年) → 80%(H31年) 交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容					
事業費	296,000			296,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	250,000			250,000	
うち県交付金	125,000			125,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	46,000	0	0	46,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	誰もが活いき！支えあい推進事業
事業主体の名称	活いききこっとな村
代表者の名称	上本 真澄
事業主体の所在	鹿沼市千渡1949-64
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:社会貢献に興味を持つ人達のネットワーク作りを通じて、より良い地域社会作りに関する活動を行うことにより、地域の発展と福祉・教育・環境の向上に寄与する。 ・設立年月日:平成28年4月1日発足 ・構成員等:運営会員9人 ・主な活動:野菜栽培、綿花栽培等営農事業、オーガニックコットンの商品化、販売、地域学童の情操支援、その他社会貢献及び地域社会作りが必要とされる事業。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>当該地区(鹿沼市千渡)では、人口約5400人、2000世帯が暮らしており、新興住宅が増え人口増加の傾向にある。しかしながら、少子高齢化、核家族化等ライフスタイルが多様化し、地域との関係を持たない人が増えるなど、コミュニティのつながりが希薄になる傾向があり、各種制度では拾いきれないニーズや人(制度の谷間)に対し、地域の住民同士が支え合う仕組みを作る必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献に興味を持つ人達のネットワーク作りを通じて、より良い地域社会作りに関する活動を行うことにより、地域の発展と福祉・教育・環境の向上に寄与することを目的とする。 ・耕作放棄地における営農を通して、地域の元気な高齢者や障がいをもつ人、引きこもりがちな人などを巻き込むことで、誰もがいつまでも安心して暮らし続けることができる社会作りを目指す。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に自治会等地域コミュニティ関係者等を巻き込み、地域コミュニティの理解・参加・協力を促すことで、社会貢献に興味を持つ人達のネットワーク作りをするとともに、地域の元気な高齢者や障害者、引きこもりの人等の情報把握等に活用し、事業参加者のネットワーク拡大への好循環につなげていく。 ・特にターゲットとなる引きこもりの人々を地域で支え、コミュニティに溶け込ませるためには、自治会等地域コミュニティ関係者の協力が不可欠であり、民生委員、学校、自治会等と協力し、引きこもりの人々の情報提供を受けるなど、個々の対話・面談等による巻き込みを想定する。 ・農業は引きこもりのひとが社会復帰するための第一歩の手段であり、そういった人々がゆくゆくはコミュニティに参画、自治会への加入を期待する。 ・作物を生やし、製品化していく過程や就労体験を通しての他人との触れ合いを通して社会的な教育を行う。(学童の情操支援) ・コミュニティ内の耕作放棄地の所有者から土地を借りる等し、利用することで、今後も耕作放棄地対策にもつなげていく。 <p>H28</p> <ul style="list-style-type: none"> ①耕作放棄地にて畑作、営農を行った。 ②耕作放棄地にて綿花栽培、営農を行った。 ③綿花栽培によって得られた綿を利用した商品化及びその販売を行った。 ④上記事業を通じて、各種学童の学びの機会、社会的な教育の場とした。 <ul style="list-style-type: none"> ○こっとな村夏祭り開催 平成28年7月22日 来場者数:200名 ○近隣のデイサービス利用者や地域の子どもと一緒に農業を行い、交流を図った。 ○市内介護施設や高齢者居住地域を中心に野菜の移動販売を行った。 <p>H29.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ①耕作放棄地にて畑作、営農を行う ②耕作放棄地にて綿花栽培、営農を行う ③綿花栽培によって得られた綿を利用した商品化及びその販売を行う。 ④上記事業を通じて、各種学童の学びの機会、社会的な教育の場とする。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域の力支援事業:6件</p> <p>自治会加入率:79.2%(H26年) → 80%(H31年)</p> <p>交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31年)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度			支援期間の事業費計	
	事業費	市町支出金(ソフト事業分)	うち県交付金	事業費	補助金
①野菜栽培と営農事業 ②綿花栽培と営農事業 ③オーガニックコットンの商品化、販売 ④学童の情操支援	583,586	250,000	125,000	583,586	
市町支出金(ソフト事業分)		250,000		250,000	
うち県交付金		125,000		125,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	333,586		0	333,586	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
連絡先 FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	ZOMarket開催事業
事業主体の名称	ZOMarket
代表者の名称	福田 大樹
事業主体の所在	鹿沼市西沢町243
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 運営を通じて近隣地域のこだわりを持った生産者、個人事業者を応援し、地域経済を活性化させるとともに、コミュニティに拠り所を提供する。 ・設立年月日: 平成28年2月29日発足 ・構成員等: 事務局2人、参加団体18団体 ・主な活動: 生産者と消費者が直接対話できるマーケットを、地元の鹿沼運動公園で開催する。
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は、里山農村地域で、豊富な水源と豊かな土壌により、質の高い農作物が生産されている。しかし、農産物等の生産者と消費者の顔が見える関係ができておらず、地元である南摩地区の特徴・特産物を知らない人も多く、地産地消の意識が低い。そのため、地域経済がうまく循環していない。 ・本市の魅力ある産業を更に振興するため、農工商連携だけでなく、生産者が消費者に直接PRできる場づくりが必要となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケット運営を通じて近隣地域のこだわりをもった生産者、個人事業者を応援し、地域経済を活性化させるとともに、コミュニティに拠り所を提供する。また、南摩にひとつでも多くの良質なつながりや気づきが生まれる事を期待する。
事業概要	<p>H28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者と消費者が直接対話でき、農産物、加工品、クラフト、飲食物、物販、体験などを提供するマーケットを、地元の鹿沼運動公園で開催した。(4, 5, 6, 7, 9, 10, 11月の各最終日曜日 計7回)※8月は台風のため中止 ・来場者数: 計3,300名 ・マーケットを重ねることで、消費者のニーズをくみ取り、生産者による新製品の開発や販路開拓、基盤整備に繋げ、更なる地場産業の振興を図った。 ・さらに、地区外へPRを行い、地区外からの参加者を募ることで、当該地域の知名度を向上させ、交流人口の拡大を図ると共に、自立性の向上に努めた。 ・PRIについては、広報かめま、週刊鹿沼、月刊鹿沼、その他ラジオ等メディア利用等でPRを図る。広報かめま、月刊、週刊鹿沼は市内の他、交流都市(足立区、墨田区、台東区、春日部市)等に送付されている。これらによって交流人口の増加を図った。 <p>H29, 30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者と消費者が直接対話できるマーケットを、地元の鹿沼運動公園で開催する。(4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11月の各最終日曜日 計8回)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域の力支援事業: 6件 交流人口: 331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	マーケット開催事業				
事業費	250,018			250,018	
市町支出金 (ソフト事業分)	150,000			150,000	
うち県交付金	75,000			75,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	100,018	0	0	100,018	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	鹿沼市
事 業 名	地域デビューのためのママ講座
事業主体の名称	鹿沼市社会教育オピニオンリーダーせせらぎ会
代表者の名称	佐々木 澄江
事業主体の所在	鹿沼市西茂呂3-38-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:家庭教育オピニオンリーダー研修修了者としての資質向上と、家庭や地域等の教育力の向上に貢献することを目的とする。 ・設立年月日:平成4年6月3日 ・構成員等:会員12人 ・主な活動:子育てに関するカウンセリング講座や即興劇、家庭教育講演会、子育てゼミナールの企画、運営などの活動をしている。鹿沼市の家庭教育がせせらぎの流れのように、いつも変わらぬ平穏な家庭を築けるように活動している。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>子育て中の母親は外に出る機会が少なくなり、地域コミュニティとの関係が希薄化しており、子育て後に地域や社会に復帰することが難しいので、子育て中から、地域や社会とのつながりの場を作る必要がある。</p> <p>本市には、経験豊富な職員が子育て相談に乗り・有益な子育て情報を提供している子育て支援センターがあるが、利用者の伸び悩みなど、その機能を活かしきれていない。</p>
事業目的	<p>・まちづくりへ参加しやすくするためのコミュニケーションづくり。ものづくりで友達を作るきっかけづくり、いろいろなイベントに参加できるようにする。それによって子育て中、子育て後に地域や社会に復帰しやすくする。</p> <p>・必要に応じて子育て支援センターの利用を促すことで、子育て支援センターの更なる活性化、地域社会で子育てを行える環境整備を進める。</p>
事業概要	<p>H28 各種ワークショップを4回開催した。 ○対象者：1～3歳までの子育て中の保護者 ○概要 おやつ作り体験：グループトーク及び、おやつ作り体験 おもちゃ遊び体験：グループトーク、情報交換、木製おもちゃでのおもちゃ遊び体験 リトミック体験：グループワーク、情報交換、音楽・リズムによる情操教育(リトミック)の体験 バルーン体験：グループワーク、情報交換、大きなバルーンによる子どもの運動体験 参加者：約80名</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち 【KPI】地域の力支援事業:6件 子育て支援センター延べ利用人数: H27年:16,034人/年 H31年:125,000人(年間延べ25,000人×5年)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	各ワークショップの開催				
事業費	171,000			171,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	150,000			150,000	
うち県交付金	75,000			75,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	21,000	0	0	21,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	鹿沼秋まつり事業
事業主体の名称	鹿沼秋まつり実行委員会
代表者の名称	委員長 佐川 徹三
事業主体の所在	鹿沼市今宮町1688-1(鹿沼市観光交流課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:鹿沼秋まつりを主催することで、賑わいのあるまちづくりを推進し、鹿沼の経済活性化、観光の振興、ひとづくり及び地域振興につなげる。 ・設立年月日:平成15年7月18日 ・構成員等:中心市街地の住民が主な構成員となり、市、鹿沼商工会議所、自治会連合会、教育委員会、観光物産協会、鹿沼そば振興会、祭囃子保存会等の関係団体が参加。鹿沼いまみや付け祭り保存会と組織を一部共有している。
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」は、華麗な彫刻で飾られた囃子屋台が巡行するもので、全国的に比較しても貴重な行事であることから、平成15年に国の重要無形民俗文化財に指定されるとともに、平成28年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された。 ・しかしながら、彫刻屋台を所有する町の一部では、高齢化の進行や若年層の流出により、コミュニティ意識の希薄化が懸念されるとともに、屋台の曳き出しや管理など、伝統行事を維持していくことが困難な状況にあった。 ・全国・世界に誇れる祭りとして、さらにアピールし、後継者の確保を図る必要があった。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りの本体の充実を図り、知名度を向上させ、市全体が一体となる祭りを確立する。 ・鹿沼いまみや付け祭り保存会との協働による円滑な運営を図るとともに、協賛金を含めた資金の拡充を図り、自立性を高める。
事業概要	<p>H28</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会議・部会の開催 ②鹿沼今宮神社祭の屋台行事の実施(10月8日) ③市民まつりの開催(市民パレード、屋台揃い曳き、スタンブラリー等)(10月8・9日) <p>※加速化交付金では…那須烏山市との広域連携事業として、本事業で行う祭り本体とは別の組織(協議会)で実施する。加速化交付金事業では、祭りを首都圏にPRすることで、交流人口の増加を図ることを目的とした。特に、本祭以外の事業として、組織を分け、祭りの情報をきっかけとして新たな人の流れを構築することを目的に実施した。</p> <p>※本事業では…祭り本体を充実することで、祭りに来場者へ直接PRし、祭りの持続的な実施と発展を目標とした。そのために、祭りを実施していない地域も巻き込み、市全体が一体となり実施する祭りの確立を目指し、「市民祭り」を実施した。</p> <p>H29、30</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会議・部会の開催 ②鹿沼今宮神社祭の屋台行事の実施 ③市民まつりの開催(市民パレード、屋台揃い曳き等)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:地域資源を活用した交流と移住・定住の促進</p> <p>KPI:交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度		支援期間の 事業費計	
事業内容	①総会、各種部会開催 ②鹿沼今宮神社祭の屋台行事 ③市民まつり(市民パレード、屋台揃い曳き、スタンブラリー等)			
事業費	18,297,025		18,297,025	
市町支出金(ソフト事業分)	6,570,000		6,570,000	
うち県交付金	3,000,000		3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)	0		0	
うち県交付金	0		0	
その他自主財源等	11,727,025	0	11,727,025	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総務部企画課
担当者名	山本 和弘
電話	0289-63-2146
FAX	0289-63-2247
E-mail	kyamamoto@city.kanuma.lg.jp